

1450

生涯学習概論

2単位（通信授業1単位・面接授業1単位）

神野善治教授、紫牟田伸子講師、田中洋江講師

授業の概要と目標

「自ら学ぶ」ことを中心テーマとし、誰もが・いつでも・どこでも学べる生涯学習社会の実現が提唱されて以来の教育施策の理念と具体的な歩みを把握したうえで、博物館と美術館を中心として、図書館や公民館などの社会教育機関が市民の学習活動に貢献するために必要な取り組みを理解し、生涯にわたって学習を継続するうえで求められる基本的態度を自らが獲得するとともに、他者の学習を支援することへの意識を高めること。

課題の概要

○面接授業課題

博物館の生涯学習活用について講義と見学、グループ議論等により指導。

○通信授業課題

教材による学習の後、社会教育施設の事例調査に基づく活動事業提案を課題とする学修報告書を課し、添削指導を行う。

*課題については学習指導書『生涯学習概論 平成29年度』を必ず参照すること。

授業計画

面接授業



通信授業

[面接授業]

- ・博物館資料から学びを構成する／情報を知識にするための場／教化装置としての博物館 等
- ・施設見学／職員による説明／施設の運営と学習への対応／学習情報提供の観察
- ・調査発表と質疑応答／発表への講評とディスカッション

[通信授業]

- ・(教材による学習) 生涯学習実践者としての学芸員／生涯学習の基本／実物学習の価値／ラングランの理念／生涯学習行政の展開／生涯学習における指導者の役割／生涯学習の先達者たち／社会的条件と学びとの関係／社会教育における出会いと自己発見 等
- ・(学修報告と添削指導) 社会教育施設の事例調査に基づく活動プログラム提案

成績評価の方法

通信授業と面接授業との総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3年次

[履修条件] 「デザインリサーチⅠ・Ⅱ」の単位を修得していること（芸術文化学科各コース3年次編入学生を除く）。

[備 考] 芸術文化学科文化支援コース3年次必修科目。

芸術文化学科造形研究コース3年次選択必修科目。

芸術文化学科以外の学芸員課程履修者は、「デザインリサーチⅠ・Ⅱ」の単位修得が無くても履修できる。

スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：神野善治監修『ミュージアムと生涯学習』（武蔵野美術大学出版社 2008年）

学習指導書：『生涯学習概論 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）

その他

レポート作成の際は、課題の趣旨を理解するために、よく学習指導書を読むこと。

学芸員課程履修者は、この授業科目は「博物館に関する科目」として取り扱われる。